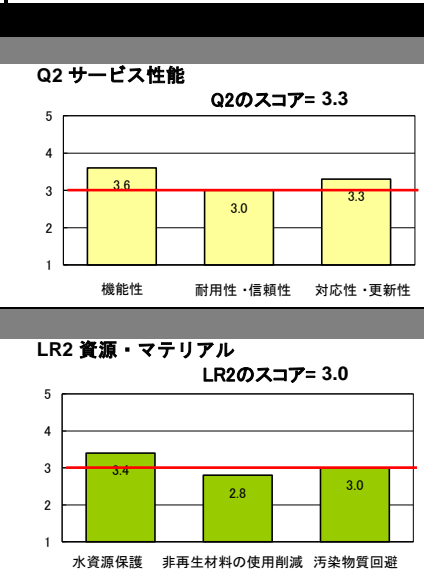
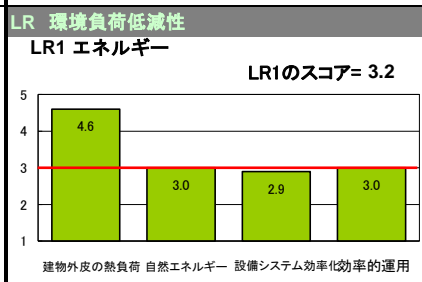
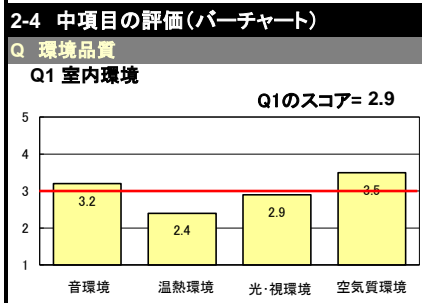
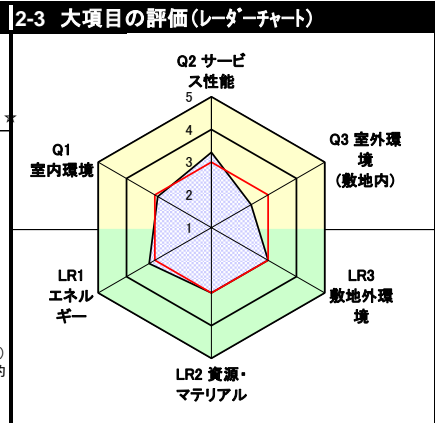
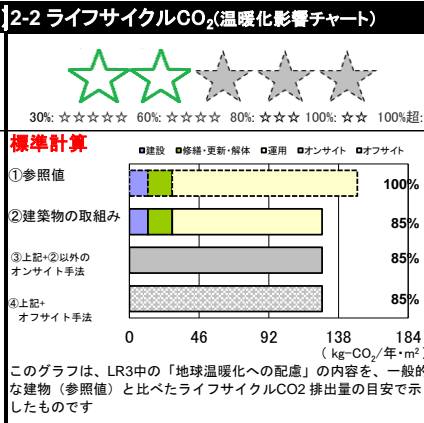
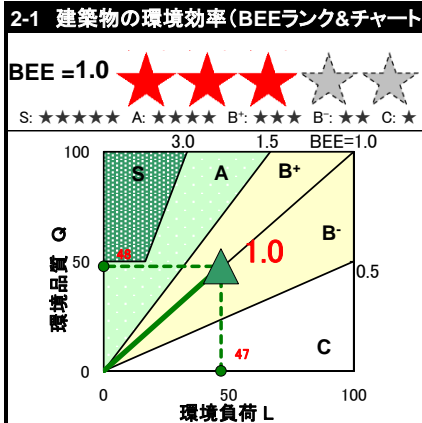


1-1 建物概要	
建物名称	独立行政法人国立病院機構 久里浜医療センター
建設地	神奈川県横浜須賀野比5丁目2762番1、2817番1他
用途地域	一種中高層住居専用地域、準防火地域
地域区分	6地域
建物用途	病院
竣工年	2021年5月 予定
敷地面積	4,095 m ²
建築面積	1,614 m ²
延床面積	6,153 m ²

階数	地上4F
構造	RC造
平均居住人員	350 人
年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
評価の段階	実施設計段階評価
評価の実施日	2018年11月9日
作成者	株式会社 丸川建築設計事務所
確認日	2018年11月12日
確認者	株式会社 丸川建築設計事務所



3 設計上の配慮事項

総合	その他
<p>外皮に断熱施工により建物の熱負荷の低減。 開放感のある空間を提供。 緑豊かな周囲の自然環境に配慮したデザインを創出。 高効率な設備と節水器具を採用。</p>	特になし
<p>Q1 室内環境 患者に最適な入院環境機能を提供するため、高い遮音性能の界壁と自然採光を考慮。内装材はすべてF☆☆☆☆を採用。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) 既存の緑豊かな周囲の自然を保存し、自然環境に配慮したデザインの創出。</p>
<p>LR1 エネルギー 外皮に断熱施工することにより外部からの熱負荷を軽減している。効率の良い設備機器の採用により、高効率化を図った。</p>	<p>LR3 敷地外環境 気象データを把握し、現況の豊かな自然を配慮した建築物の配置・形状を計画。</p>
<p>Q2 サービス性能 内装計画は木調とし落ち着きのある空間として計画。長寿命な部材を採用。 ゆとりある階高のため、開放感のある空間を演出。</p>	
<p>LR2 資源・マテリアル 大便器、小便器、に節水器具と自動水洗を採用し節水に取り組む。</p>	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される